



『ボーダーレス』展

2017年10月7日(土) — 10月29日(日)

開館日時: 金、土、日、祝 11時~19時

会場: アートラボあいち



NAGOYA
UNIVERSITY
OF ARTS



ART LAB AICHI

『ボーダーレス』展

2017年10月7日(土) — 10月29日(日) 入場無料

2017年4月、名古屋芸術大学は、音楽・美術・デザインが「BORDERLESS」に統合し、芸術学部芸術学科として生まれ変わりました。現代は「ボーダーレス」な時代、すでに名古屋芸術大学グラデュエートの中には「ボーダーレス」に活躍する作家達があります。今回の展覧会では、1990年代から2010年代に卒業した卒業生の中から、特に領域を超えた活動を展開する作家を選出し、コラボレーション展をおこないます。卒業後、これまで「点」であった作家達が「線」で繋がり、年代を超えて「出会い」「共鳴」し、時には「融合」いたします。是非ご来場いただき、軽やかに領域を超える作家達のスリリングな共演を、あなた自身の身体で体感してください。また、自らの作品世界だけでなく、誰がどう影響し合ったのか、作家同士の「繋がり方」も本展の見所の一つではないかと思えます。ご高覧いただけたら幸いです。

原田 裕貴 Yuki Harada

1980年、愛知県豊田市出身。国立豊田高等環境都市工学科を卒業後、名古屋芸術大学サウンド・メディアコースに入学、同大学大学院音楽研究科修了。在学中より映画、舞台、ゲーム、アニメーション、TV-CM等の音楽制作に携わる。現在、名古屋芸術大学、名古屋大学、岡崎女子大学、岡崎女子短期大学非常勤講師。
http://yukiharada.com

細井 博之 Hiroyuki Hosoi

1983年、静岡県浜松市出身。名古屋芸術大学音楽学部卒業、愛知県立芸術大学大学院音楽研究科修了。在学中よりセントラル愛知交響楽団、愛知室内オーケストラ、愛知県立芸術大学管弦楽団を始め様々な演奏家によって作品が演奏される。主な作品にピアノ協奏曲(修士作品)、チェロとピアノのためのソナタ、ヴァイオリンとピアノのためのソナタ「春」などがある。作曲を田中範康、岩本渡、光部雅人、北爪道夫、久留智之の各氏に師事。名古屋芸術大学非常勤講師。

佐藤 美代 Miyo Sato

1989年、愛知県名古屋市出身。東京都在住。2011年、名古屋芸術大学デザイン学科メディアデザインコース卒業。2015年、東京藝術大学大学院映像研究科アニメーション専攻修了。ペイントオングラス(ガラスの上に絵の具で描いた絵をコマ撮り)や砂絵アニメーションを用いた作品を制作しながら、フリーランスアニメーターとしてミュージックビデオやCM、テレビ番組のアニメーションなどを手がけている。
HP: http://satomiyo.com

松田 るみ Rumi Matsuda

1980年、長野県出身。2005年、名古屋芸術大学美術学部絵画科洋画コース卒業。2007年 愛知県立芸術大学大学院美術研究科油画専攻 修了 ポジション2017 介 - 生と死のあいだ(名古屋市美術館 常設企画展/名古屋) 私とはなにかというところから出発し、「見取ること」を手がかりに、自分自身が生きていることについての思索を、パフォーマンスと映像を使ったインスタレーション制作やワークショップを行っている。

中田 ナオト Naoto Nakada

1973年、愛知県出身。1998年、名古屋芸術大学美術学部デザイン科卒業。2000年多摩美術大学大学院修士課程美術研究科修了「やきもの」から「やきこと」へ。象徴的なものをめぐって世界の見方や社会との関わりについて考察し、「超普通」な視点で、美術と工芸、情報と実材を横断する表現を展開。主な展覧会に[アーツ・チャレンジ2011](愛知県芸術文化センター/'11) [中田ナオト-出会いとひらめきの音楽時間](滋賀県立陶芸の森陶芸館 ギャラリー/'16) [種子島宇宙芸術祭](種子島 南種子町/'17)

田中 翔貴 Shoki Tanaka

1989年、愛知県北名古屋市出身。三重県在住。2012年、名古屋芸術大学デザイン学科 メディアコミュニケーションデザインコース卒業。2014年、名古屋芸術大学 大学院デザイン研究科デザイン専攻領域 修了写真であることを大切にしながら、写真であることから離れてみる。その考えから現像工程を変えたり、さまざまな素材を選びプリントすることで光と物質を意識した制作をしています。光を科学的に変換することで写し出せる物質の色。光なしでは見えない色。実験を繰り返す中プリントは形を変え絵画やオブジェへと変化していきます。

鳥巢 貴美子 Kimiko Torisu

1989年、愛知県出身在住。2012年、美術学部洋画2コース卒業。植物の寄せ植えをモチーフに影度をおさえ白を基調とした描写で絵画を制作する。自然光と絵画の関係性に関心を持ち、近年では自然光・光が描かれたものを侵食するほどのより深いかわりを持った提示方法を模索している。主な参加プロジェクトはONGAESHI artist exchange Bremen Nagoya 2014-15

EVENT

オープニングレセプション:10月7日(土)18時~20時

アーティストトーク:10月13日(金)17時~18時

会場 アートラボあいち 2F(入場無料)

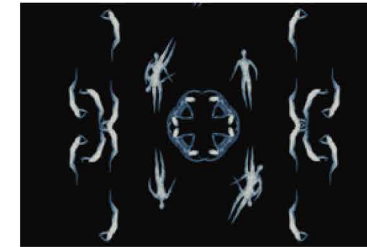
※今回の出展作品ではありません。



Hiroyuki Hosoi / 2009年「空気の感触」



Naoto Nakada / 2016年「Shigaraki time」



Miyo Sato / 2014年「Through the Windows」



Shoki Tanaka / 2015年「Sedimented Landscape」



Rumi Matsuda / 2013年「re-appearance 再現」



Kimiko Torisu / 2014年「Pflanze」
©Kimiko Torisu Courtesy of taimatz

アートラボあいち

開館日 金曜~日曜、祝日

開館時間 11:00~19:00

場所 名古屋市中区丸の内三丁目4-13
[愛知県庁大津橋分室2階、3階]

アクセス 地下鉄名城線[市役所]4番出口から徒歩5分
地下鉄桜通線・名城線[久屋大通]1番出口から徒歩8分

TEL/FAX 052-961-6633(開館日のみ)

WEBサイト http://aichitriennale.jp/ala

主催:名古屋芸術大学、あいちトリエンナーレ実行委員会 企画:名古屋芸術大学音楽領域/美術領域/デザイン領域 共同企画 総合プロデュース:田中範康・津田佳紀・大崎正裕
プランニング・ディレクション・タイトル題字:横山豊蘭 デザイン:渡辺浩之 協力スタッフ:山口諒・池上夢与・竹内創也・藤原 葵・伊藤 真・海野悠子・佐藤元紀

